

ホウの
自治基本条例メモ

第26話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195

この前、米原市こども市議会に私たちの友だちが出たのよ。

そうなんだ。どんなふう
に言ってた？

緊張したけど、おもしろ
かったって言ってたよ。

①

ところでホタルン、市議
会ってどんなことをして
るの？

②

市議会は、みんなから選
挙で選ばれた議員さんた
ちが、市役所の仕事が米
原の市民のためにしっか
りと行われているかをチ
ェックしているんだよ。

うわあ、僕の宿題をチエ
ックしているお母さんみ
たいだね。

自治基本条例には、議会の役
割についても書いてあるんだ
よ。

議員さんたちは、米原市をよ
くするために活動しているの
ね。

③

よし、僕も大好きな米原
市のために、将来は市議会
議員になろうかな。

④

そんなことより、今日の宿
題はできたの？

おー！
するどいチェックだね。

うーん。僕より君の方が、
市議会議員に向いているか
も。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をしぼとします。

どろんこの会

- 会 員 ボランティア16人
- 連絡先 代表 森 鈴子 ☎52-3483
- 活動日 不定期



「地元の子どもたちが様々な経験を通じて成長してもらうために、何か自分にできることはないか」・・・2008年、どろんこの会は森さんのそんな思いから活動がスタートしました。

主な活動場所は舟崎にある「どろんこ農園」で、子どもたちに田植えや農作業を指導するだけでなく、収穫した農作物でピザやロング巻き寿司を作ったり、カヌーなどの自然体験を行ったりと、幅広く活動を展開されています。

参加した子どもたちは、みんなどろんこになって農作業や体験に夢中になるそうで、自然と触れ合いながら様々な年代の方と関わることが、かけがえのない経験になっているようです。また、子どもたちの健全育成や地域農業の活性化に貢献していきたいという、メンバーのみなさんの思いも伝わってきて、会に携わっているみんなが楽しむことが、活動を続けていく上で大切であると感じました。

「このような活動を続けられているのも様々な方の協力があるおかげで、いつも感謝の気持ちでいっぱい。人に何かをして喜んでもらうのはうれしいし、それが活動の原動力になっている」と森さんは笑顔で語っておられました。



掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195